

デジタル・イメージング技術部会 講演要旨

開催日：2016年12月1日（木） <2016-3 ①>

テーマ：「自動運転技術の最新動向」

講演者：二宮芳樹氏（名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ部門 特任教授）

自動運転は、交通事故、渋滞、環境負荷という自動車の従来課題だけでなく、高齢化、地方過疎などの新たな社会課題への解決策として、さらに自動車の在り方を「所有」から「利用」に変革するものとして期待され、世界中で技術開発競争が行われている。自動運転技術には従来の運転支援を進化させ、高速道路での自動運転 Level 2 を実現するアプローチと、一般道路での完全自動運転 Level 4 をめざすアプローチがある。後者を可能としたキーテクノロジーは、1) 高空間分解能な光学式距離センサの利用、2) 高精度な3次元の道路地図の利用、3) 実路での走行データに基づく学習ベースの認知・判断などの知能処理の実現の3つである。また、自動運転機能をステップアップする手段として、通信技術を活用し、高精度地図上に他車や歩行者などの移動物情報を重畳させるダイナミックマップという枠組が注目され、さらに安全、円滑な交通を実現できる期待から、世界中で技術開発が行われている。